

Q16 参加した感想を、自由に書いてください。

① 地域振興とデータサイエンス

- ・地域復興とサイエンスの面白い繋がりを見ることができた。
- ・様々な観点から「道の駅の観光客増加」を考えて、大学の教授の方にもお話を伺うことが出来て楽しかった。
- ・思っていたより上手く進まなかったけれど、逆にそれが面白かった。またこのような事をしてみたいと思った。
- ・初めてFSをして、すごく難しいことをすると思っていたけど、身近な事を考えられたので、思っていたより易しくてよかった。
- ・初めの頃は、自分にできるだろうかと不安だったが、やってみると意外と楽しかった。
- ・地域のことについて考えることができた。
- ・班で協力してプレゼンできたので良かった。
- ・自分にはなかった発想や意見に触れられたし、発表の改善点も見えたので次に活かしたい。
- ・アイディアを考えることが戦略を練るようで面白かった。

② 文化と歴史の科学

- ・実際に実験を行ってみて、紙で行うアンケートとパソコンを使うものでは大きく違うことが分かり、科学の大切さというものを実感した。
- ・もう一回やってみたい。
- ・実際に実験に参加出来て楽しかった。
- ・今日は実際に実験を行うことができた。興味があっても具体的にどのような事をするか全く知識がなかったけれど、少し知ることが出来たので良かった。
- ・今回心理テストの問題をして、自分の意識のない心理は自分の意識している心とは全く違うのだなととても驚いた。
- ・心理学、面白いと思った。興味が湧いた。
- ・前回の講話から心理学への興味関心は高まったが、今回の講話で更に興味関心が高まった。心理学についてももっと知りたいと以前より思うようになった。
- ・今回のような実験をしてみたいと思った。例えば、「黒人や白人という差別は物心つく頃からあるものなのか。」や、「本能的な男女差別はあるのか」などをしてみたい。
- ・自分が考えるよりも思っていることがデータとして出るのが面白いと思った。
- ・とても面白かった。
- ・紙面とパソコンの両方を用いる実験が楽しかった。
- ・貴重な体験ができて良かった。
- ・今回はテストをしてみて、自分では気づいていないことでも結果に反映されていたので驚いた。
- ・テスト。
- ・講義だけでなくパソコンを使った実習もあって、学ぶだけでなく楽しめた。普段感じている方言のイメージの原因が分かった気がする。
- ・潜在連合テストをやって、本格的に同意書を書いたり、顕在的態度と潜在的態度両方ではかたたりすることができて、楽しかったしとても勉強になったので良かった。

③ 教育の科学

- ・自分達で授業を考える大変さや楽しさを感じられたし、工夫することができた。
- ・教師の大変さを知ることができたと同時に、やりがいのある仕事なのと思った。
- ・楽しかった。②
- ・指導案を書いたり実際に授業したりして、とても楽しかった。

④ 栄養の科学

- ・食品ロス・ごみの排出が、自分で思っていたよりも多くてとてもびっくりした。
- ・とても勉強になった。②
- ・今まで知らなかったことを知れたし、自分にもできることがあると分かったので、食品ロスをなくすために食生活に気を付けていきたいと思った。
- ・食品ロスについて詳しく学べて、協力しながら解決策も導き出せたので良かった。
- ・まずは少しのことでも一人一人の意識が大切なのでやっていきたい。

⑤ スポーツ・保健とライフサイエンス

- ・将来や今の役に立つ情報を知ることができたので良かった。
- ・いい機会になった。
- ・知らない事を知れて良かった。

⑥ 機械・エネルギー工学と社会

- ・サイエンスと日々の学校での学びを重ね合わせながら考えることができ、とても良かった。
- ・とても面白く、興味深く楽しかった。
- ・サイエンスに限らず、今後の人生において重要な事を学べてとても有意義な時間になった。
- ・「転移学習」などの話がとても興味深かった。が、少しお話が長く、途中で集中力が切れそうになった。でも、本質をつかむことはできたので良い経験になった。
- ・自分が分からない事は積極的に聞くこと、自分の持っている知識を共有することが大事だと感じた。
- ・教えてもらうだけでなく、自分も情報することが大切だという事が分かった。
- ・とても楽しかった。知識などだけでなく、先進的な大学のよく考えられている学び方などを教えていただき、とてもためになった。
- ・今回のお話で、「らせん状」の研究の大切さが十分に理解できた。また、弁証法などは今からでも挑戦できるので、活かしていきたい。今日はご講義いただきありがとうございました。
- ・教えてもらった分、自分からも教えるという事をしていきたいと思った。
- ・話がとても面白く、今後の自分に役立てられるように感じた。
- ・プログラミングに関して、詳しく学ぶことが出来たので良かった。
- ・自分の将来に本当に役に立ちそうな情報ばかりで楽しかった。専門的な知識だけでなく、仲間と高め合う方法を知れて、これから活かしたいと思った。
- ・体験談も交えて教えてくださったので、納得できることが多かった。

⑦ 都市デザインと工学

- ・前回まで学習したことを実際に自分で見ることができ、面白かった。
- ・米沢の町の中の景観は基本なじんでいると思った。雨が降ってしまいましたが、そのおかげで側溝と道路の高さが異なって、水が流れないようにしている等の工夫も見受けられて、細かい所まで見られたと思う。フィールドワークをまたしてみたい。

⑧ マテリアルサイエンスと人間社会

- ・電子オルゴールが鳴らなくて少し残念だったけど、できて良かった。意外と黒鉛の量が少なくても電池として成立した。
- ・地球温暖化はまだ先のことだと思っていたが、深刻な問題だという事を知った。
- ・“電池を作る”という内容が参加前から気になっており、とても楽しみにしていた。実験では、大学生がとても分かりやすく工夫して教えてくださり、充実していた。
- ・普段体験できない実験をして、貴重な経験になったし、とても楽しかった。
- ・実習などをして、電池の仕組みを学習することができ、これからの社会の問題点を実際に感じる事ができた。実習をすることが出来たことで、実際に体を動かして学習することが出来、楽しむと同時に深い学習をすることができた。とても面白かった。
- ・地球のために研究をされていてすごいと思った。再生可能エネルギーの大切さが分かった。
- ・新たなエネルギーとして太陽の光をつかって、CO₂を出さずに発電できる方法を知れて良かった。
- ・とんぼが怖かった。新しく知ることが沢山あって面白かった。太陽電池があまり上手くいかず、残念だった。
- ・はじめの講義もとても引き込まれる内容で面白く、地球環境への興味が増した。先輩方も優しい方ばかりで楽しかった。本当にありがとうございました。

⑨ バイオ産業科学と社会課題

- ・3回受講し、薬等以外にも社会に関わる事とサイエンスが深く関係している事を知り、とても興味深く感じた。とても楽しかった。ありがとうございました。
- ・テクノロジーと食品の関係について学んだ。消費者や生産者のニーズに応えるためにも、長い年月をかけて一つのを生み出しているのだなと感じた。
- ・地域(県)に関連したことを学習出来て楽しかった。バイオが身近に使われている事を知ることが出来て、興味が湧いた。
- ・私は遺伝子組み換えしたものではなく、していないものを食べたいと思った。
- ・遺伝子の仕組みを利用した組み換えや、染色体操作の方法が分かった。これからの日本や社会で遺伝子組み換えがいつ受け入れられるかはわかりませんが、自分でも組み換え作物について考えたい。
- ・自分で疑問を考え、しっかり解決できる良い機会になった。
- ・遺伝子組み換えが社会の課題解決に繋がるのだと思った。
- ・今コロナの影響でPCRという言葉聞くが、そのことについて学べた。遺伝子組み換えを試行錯誤して、より良い魚をつくることに興味を持った。
- ・人の手を加えると生物の性質も変えられることを知って、科学は面白いなと思った。
- ・ニジサクラを例に遺伝子組み換えについて、学ぶ事ができたので良かった。雨で施設内を十分に周ることが出来なかったので残念だった。

- ・今回は雨で外の設備を見ることが出来なかったが、中のものを見て、実際にどんな事をしているのかを自分の目で見ることで良かった。また、血液を見て大きさが違う事を見られた。
- ・生活とバイオに関係があることが分かった。

⑩ 地域と医療

- ・訪問看護の重要性を知ることができたし、コロナ禍の今はもっと需要が高まっていると思った。
- ・地域と密着した「在宅医療」を学び、山形県や米沢市で医療に携わるのはこういう道もあるのだと気づくことができた。
- ・訪問看護とは大変な仕事であるが、やりがいを持って仕事に取り組んでいる姿を見て、医療に関わる仕事は、大切な役割を果たしているのだと思った。
- ・分かりやすい言葉で説明して下さったおかげで、理解しやすかった。
- ・自分の進路が周りの人にも影響を与えるのだなと思った。
- ・母が訪問看護師のため、興味深い内容だった。

⑪ アートと科学

- ・楽しかった。
- ・頭を柔らかくする楽しさを覚えた。
- ・身近な取り組みなどを聞いて自分の考えが深まったと思う。

⑫ 医学の最先端

- ・身近でも知らなかったことが分かったので面白かった。
- ・医療の課題を工学の視点から考えてみることは、意外にも社会に浸透していることだと感じた。幅広く様々な学問にチャレンジする大切さを知った。
- ・話を聞くだけでなく、グループで話し合いができてとても楽しかった。
- ・医学と工学の関わりについて深く知ることができた。
- ・前は医療を医学または政策の面から考えた。今回は自分の発想や工学の医療との繋がりを知り、色々な分野の知識を知ることが大切だと分かった。
- ・班の人とのディスカッションがあって、楽しく理解を深めることができた。
- ・最後の講義はとても楽しく、図や表を用いて発表した。医療と工学は一見無関係のように見えたが、ちゃんと深い関わりがあった。理系×文系という考えも良いと思った。
- ・今回話し合いを通して「ベッドから老人をどのように車いすに移動させるか」という問いに対しての皆の意見を聞いたことで、自分にはなかった考えを沢山見つけられたので良かった。
- ・理系の分野と文系の分野が融合したものと知り、自分が知らないような可能性のある事が分かった。
- ・医療に関わるものにも、意匠は大切だと再認識できた。
- ・グループワークで様々な考えが出てきて面白かった。
- ・車いすのアイデアなど、医学と工学が結びついている場面が多くあるなと感じた。
- ・柔軟なアイデアが大切であり、沢山の他の人の発想が面白かった。

⑬ アントレプレナー養成コース

- ・今回ご講義頂いた佐藤社長は、世界的に有名な糸のデザイナーということで独自の世界観をお持ちになっていて、とても興味深い内容ばかりだった。今回得たことをこれからの研修に活かしていきたい。
- ・どんな職業においても自分の強みを探す、つくるなどしてその後それを活かしてそれを他の人に伝えていくという事が大切になると思った。
- ・普段、お会いすることすらかなわない方のお話を聞くことが出来て良い機会になった。
- ・自分のやりたい事を見つけてそれに向かって熱意をもって可能性を見つけられるようになりたいと思った。
- ・講師の方の姿勢から、仮設構築力の大切さと“想い”の強さを感じることができた。「失敗してしまった時、仮設を立て、次の機会に活かせるから、失敗は得をすることが出来るチャンスだよ。」と講演後に教えていただいたのが、とても励みになった。私は失敗すると落ち込んでしまい、先の事を考えるまで至れませんが、これからは「チャンス」ととらえて頑張ろうと思った。
- ・とても興味深いお話だった。多くの人なら「どうしようもない」と諦めるような事にも、何度も改善して挑戦していらして、佐藤さんはまさにDCサイクルを行っていたと思った。さらに、「何事もやり方次第」という言葉にハッとした。私は、技術や独創性があればいいと思っていたので、魅せ方というのは盲点だった。これは、プレゼンや町おこしなど身近な問題に応用できると考えられる。なので、自分の出来ることをとにかくやってみて、そのうちに付く自分の得意な事や技術を大切に、伝え方を工夫して、それらの活動に活かしてみたいと思った。
- ・とてもためになる講義だった！
- ・進路や将来について悩んでいたもので、講演を聞いて元気が出た。
- ・好きな事に夢中になる事が人生の成功に繋がると知れた。
- ・挑戦し続けること、好きな事を見つけることが大切だと思った。
- ・非常にためになる講演だった。社会学系の講座も受けてみたいと思った。